

運営委員長 大森美津子（香川大学自然生命科学系）

本年から運営委員長をさせていただきます香川大学の森美津子です。どうぞよろしくお願い致します。中国・四国地方会事務局も香川大学自然生命科学系看護学科内（大森研究室）に移りましたので、問い合わせ等がありましたら、新事務局までお願い致します。

今までは会員として中国・四国地方会の恩恵を受けてきましたが、今回立場を変えて、今地方会をどのように進めていけるのかということに改めて向かい合いました。看護研究は、多くの大学や臨床における研究の積み重ねで、さらに智を根づかせて、深く人間の本质に迫るものに向かっていていると感じています。この時代の流れを感じて、その流れの少し先

を行く地方会になることを目指したいと思います。そのために、若い人々の可能性を信じて、見守り支えることから、会員の方や委員の方のご意見を大切にして進めたいと思います。すでに、各委員会において、委員長を中心に、チャレンジ精神で活発に進んでいます。また予算では、前運営委員長の山勢先生の方針を引き継ぎ、学術集会の支援金を増し、学術セミナーの充実を図るとともに、中国・四国地方会の記念すべき30周年に向けて準備を進めています。さらに、会員の皆様のご意見を反映した中国・四国地方会にしたいと思いますので、どうぞよろしくご協力・ご参加をお願い致します。

第27回学術集会が愛媛で開催されました

学術集会実行委員長 愛媛県立医療技術大学 中西純子

第27回学術集会は、去る平成26年3月9日(土)「今だからこそ看護の原点を振り返る」をメインテーマに愛媛県立医療技術大学を会場に開催し、おかげさまで、一般参加者ならびに実行委員、学生ボランティアを含め、総数446名と多くの参加者を得ることができました。会場にはいろいろの不具合もありましたが、アンケートの結果からは概ね満足いただけたようでほっとしております。

企画は一般演題56題に加え、川嶋みどり先生の特別講演「時代が変わっても見失わない看護の原点」、山田富秋先生の教育講演「その人の立場から世界をみる質的研究方法—ライフストーリー研究に焦点をあてて—」、愛媛の3人の実践家、山木一恵氏、吉田美由紀氏、安藤真知子氏によるリレートーク「看護の力：対象者のニーズを叶えるためにin愛媛」、学術委員会による特別セミナー「研究支援：文献の読み方」といずれも聞き応えのあるものとなりました。ご参加、ご協力いただきました皆様方、ありがとうございました。心より御礼申し上げます。

第27回学術集会に参加して

香川大学自然生命科学系 政岡敦子

今回のメインテーマ「今だからこそ看護の原点を振り返る」に興味を抱き、学術集会に参加させていただきました。一般演題では、実践や教育の現場など様々な場で探求された成果を聞かせていただき、自らも刺激を受けることができました。

特別講演では、「時代が変わっても見失わない看護の原点」をお聞きし、常に原点を見失わず、対象となる人の力を引き出すようかわかることや、看護とは何かを探求することの大切さを感じることができました。教育講演では、対象となる人の立場から現象を理解する方法の一つとして、ライフストーリー研究法に関するお話を聞くことができました。これから質的研究を実施していくため、知識を深めることができました。学術集会の様々な場面において、多くの学びが得られ、充実した学術集会となりました。

●平成 25 年度事業報告●

1. 第 27 回学術集会開催

実行委員長：中西純子 先生（愛媛県立医療技術大学）

日 時：平成 26 年 3 月 9 日（日）

場 所：愛媛県立医療技術大学

テーマ：「今だからこそ看護の原点を振り返る」

演 題：口演 14 題、示説 42 題（計 56 題）

参加者：446 名

2. 平成 25 年度総会開催

日 時：平成 26 年 3 月 9 日（日）12:00～12:20

場 所：愛媛県立医療技術大学 116 号合同講義室

3. 委員会報告

1) 運営委員会

(1) 第 1 回運営委員会会議

（平成 25 年 8 月 22 日（木）、秋田市）

①第 26 回学術集会（鳥取）の報告

②地方会活動計画、運営委員会活動、学術委員会活動、
広報委員会活動の報告

③第 27 回学術集会（愛媛）準備状況の説明

④第 28 回学術集会開催地実行委員長の決定
吉川洋子先生（島根県）

⑤第 29 回学術集会は、高知県で開催の決定

⑥第 30 回学術集会記念事業（岡山）の内容、準備等の
説明

⑦第 41 回全国学術集会が広島で開催されることを受け、

企画委員会の立ち上げに中国四国地方会運営委員の協力
について依頼

(2) 第 2 回運営委員会会議

（平成 26 年 3 月 8 日（土）、松山市）

①次期運営委員について

②会則変更について

③平成 25 年度事業報告

④平成 25 年度会計報告、監査報告

⑤第 30 回学術集会記念事業について

⑥平成 26 年度事業計画案

⑦平成 26 年度予算案

2) 学術委員会

(1) 第 1 回学術委員会会議

（平成 25 年 8 月 22 日（木）、秋田市）

①第 27 回学術集会特別セミナー準備

(2) 平成 25 年度第 2 回学術委員会会議

（平成 26 年 3 月 8 日（土）、松山市）

①第 27 回学術集会特別セミナーの打ち合せ

(3) 第 27 回学術集会において特別セミナーの開催

日 時：平成 26 年 3 月 9 日（日）

場 所：愛媛県立医療技術大学

3) 広報委員会

(1) 平成 25 年ニュース・レター 21 号を 9 月に発行
会員 930 名に送付した。

●平成 25 年度会計報告●

【収入の部】

（単位：円）

費 目	25 年度予算	25 年度実績	差異
前年度繰越金	560,891	560,891	0
地方会補助金	485,000	460,000	- 25,000
雑収入	80	141	61
合 計	1,045,971	1,021,032	- 24,939

【支出の部】

（単位：円）

費 目	25 年度予算	25 年度実績	差異
郵送費	90,000	77,340	- 12,660
事務費	20,000	62,013	42,013
人件費	30,000	30,000	0
各種委員会活動費	65,000	79,969	14,969
印刷費	75,000	59,755	- 15,245
記念事業等積立金	100,000	100,000	0
学術集会支援金	100,000	100,000	0
予備費	10,000	10,000	0
次年度への繰越金	555,971	501,955	- 54,016
合 計	1,045,971	1,021,032	- 24,939

●委員会より●

【学術委員会】

平成 25 年度の学術委員会では、第 27 回学術集会（in 愛媛）において、特別セミナー「文献の読み方」が開催されました。参加者には事前に検討する文献（量的研究）が郵送され、愛媛大学乗松貞子教授による文献クリティークに関するミニレクチャーの後、6 グループに分かれて、クリティークのチェックリストを参考にしながら、意見交換を行いました。各グループには学術委員がファシリテーターとして参加し、文献の読み方が具体的にすすめられ、研究に関する質問も聞かれ、時間がもっと欲しいと思うセミナーでした。

（学術委員会委員長：片岡三佳）

【広報委員会】

平成 26 年度中国・四国地方会広報委員会では、ニュース・レター 22 号を発行しました。第 27 回中国・四国地方会学術集会の開催報告と次期開催案内を主軸に、運営委員長のご挨拶や事業計画等、会員の皆様に活動報告や今後の事業計画を発信いたしました。今後も会員の皆様に情報提供、活動報告の場としてニュース・レターを活用していただけるよう広報委員会として取り組んでいきたいと思ひます。皆様からのご意見をお待ちしています。

（広報委員長：池田理恵）

●平成 26 年度事業計画●

1. 第 28 回学術集会開催

実行委員長：吉川洋子 先生（島根県立大学看護学部）
日 時：平成 27 年 3 月 8 日（日）
場 所：島根県出雲市（島根県立大学出雲キャンパス）

2. 平成 26 年度総会開催

日 時：平成 27 年 3 月 8 日（日）
場 所：第 28 回学術集会会場
（島根県立大学出雲キャンパス内）

3. 委員会活動

1) 運営委員会

(1) 第 1 回
日 時：平成 26 年 8 月 23 日（土）16:00～
場 所：第 40 回日本看護研究学会学術集会会場
奈良県文化会館

(2) 第 2 回

日 時：平成 27 年 3 月 7 日（土）

第 28 回学術集会前日

場 所：島根県出雲市（ニューウェルシティ出雲）

2) 学術委員会

(1) 第 1 回

日 時：平成 26 年 8 月 23 日（土）運営委員会終了後
場 所：第 40 回日本看護研究学会学術集会会場
奈良県文化会館

(2) 第 2 回

日 時：平成 27 年 3 月 7 日（土）
第 28 回学術集会前日 運営委員会終了後
場 所：島根県出雲市（ニューウェルシティ出雲）

3) 広報委員会

(1) 平成 26 年度ニュース・レター No.22 号を 9 月に発行、会員約 980 名に送付。

●平成 26 年度予算●

【収入の部】

(単位：円)

費 目	25 年度実績	26 年度予算案	差 異
前年度繰越金	560,891	501,955	- 58,936
地方会補助金	460,000	490,000	30,000
雑収入	141	140	- 1
合 計	1,021,032	992,095	-28,937

【支出の部】

(単位：円)

費 目	25 年度実績	26 年度予算案	差 異
郵送費	77,340	100,000	22,660
事務費	62,013	100,000	37,987
人件費	30,000	30,000	0
各種委員会活動費	79,969	60,000	- 19,969
印刷費	59,755	75,000	15,245
記念事業等積立金	100,000	100,000	0
学術集会支援金	100,000	150,000	50,000
予備費	10,000	10,000	0
次年度への繰越金	501,955	367,095	- 134,860
合 計	1,021,032	992,095	- 28,937

●特別会計（記念事業等積立金）●

【収入の部】

(単位：円)

費 目	25 年度実績	26 年度予算案	差 異
前年度繰越金	290,474	390,540	100,066
当年度積立金	100,000	100,000	0
雑収入	66	60	- 6
合 計	390,540	490,600	100,060

【支出の部】

(単位：円)

費 目	25 年度実績	26 年度予算案	差 異
次年度繰越金	390,540	490,600	100,060
合 計	390,540	490,600	100,060

●事務局より●

平成 26 年度より、事務局が新たに香川大学医学部看護学科内に移設されました。慣れない中ではございますが、様々な方のご支援をいただきまして、事務局の運営が進んでおりますことを心より感謝申し上げます。ご迷惑をおかけすることも多くあるかと思いますが、皆様とのかかわりを大切に、努力していく心構えでございます。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。事務局へのお問い合わせは、事務局専用アドレス jsnr-cs@med.kagawa-u.ac.jp までお願い致します。



一般社団法人日本看護研究学会中国・四国地方会第28回学術集会のご案内

第28回学術集会を島根県出雲市において開催します。今回のテーマは、「実践と研究で創造する“看護の知”」としました。「看護の知」は、「科学の知」に加え「暗黙知」を多く含む「臨床知」からなり、その多くは看護実践の中に埋もれてしまっています。優れた経験が看護師個人のなかに蓄積されるだけではなく、社会に向けて発信して共有化していくことが求められています。そこで、「看護実践と研究」をキーワードに学術講演を企画しました。実践の中から“看護の知”を紡ぐ研究デザインについて一緒に学びましょう。

多くの方にご参加いただき、出雲の地でご縁を取り持つことができたと願っております。

実行委員長 吉川洋子（島根県立大学看護学部）

■テーマ：「実践と研究で創造する“看護の知”」

会 期：平成27年3月8日（日）9:00～15:50（8:30開場）

会 場：島根県立大学出雲キャンパス（島根県出雲市西林木町）

■プログラム

○学術講演

「看護実践と研究の縁を取り持つアクションリサーチ」

筒井 真優美 氏（日本赤十字看護大学 研究科長 教授）

○特別講演

「『小泉八雲』を現代に活かす～ナースが育んだ五感力をめぐって～」

小泉 凡 氏（島根県立大学 教授）

○特別セミナー

研究支援：「研究支援－文献の読み方 Part 2：質的研究編－」（地方会学術委員会企画）

○一般演題（口演・示説）

演題募集期間 平成26年10月1日（水）～10月24日（金）24時まで

演題登録の方法

以下のホームページから登録できます。

- ・日本看護研究学会中国・四国地方会 HP <http://www.jsnr.jp/district/chugoku-shikoku/>
- ・島根県立大学出雲キャンパス HP <http://izumo.u-shimane.ac.jp/research/jsnr28th/>

○懇親会 平成26年3月7日（土）18:00～ ニューウェルシティ出雲（参加費／4,000円）



中国・四国地方会第28回学術集会事務局

担当：松本、吾郷（看護学部看護学科）

〒693-8550

島根県出雲市西林木町151番地

島根県立大学出雲キャンパス

TEL：0853-20-0200（代）

平日9:00～17:00

E-mail：kenkyu28@izm.u-shimane.ac.jp



発行 〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1 香川大学医学部看護学科内
一般社団法人 日本看護研究学会 中国・四国地方会事務局
発行責任者 運営委員長 大森 美津子 広報委員長 池田 理恵